

平成17年5月期決算説明会

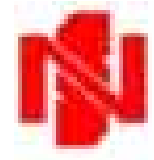
大証2部 6496



株式会社 中北製作所

<http://www.nakakita-s.co.jp>

平成17年8月9日



.会社紹介2
. 05/5期実績及び06/5期見通し7
. 今後の課題及び中期戦略19



. 会社紹介

1. 会社概要



社名	株式会社中北製作所
設立	1937年5月
資本金	1,150百万円
本社	大阪府大東市
事業概要	自動調節弁、バタフライ弁、 遠隔操作装置製造
生産拠点	本社工場
従業員数	256名(05年5月末)

2. 中北製作所のDNA



フロンティア・スピリッツ

時代のニーズに機敏に対応した開発ができる
企業

21世紀の技術的課題に挑戦し可能性を追求

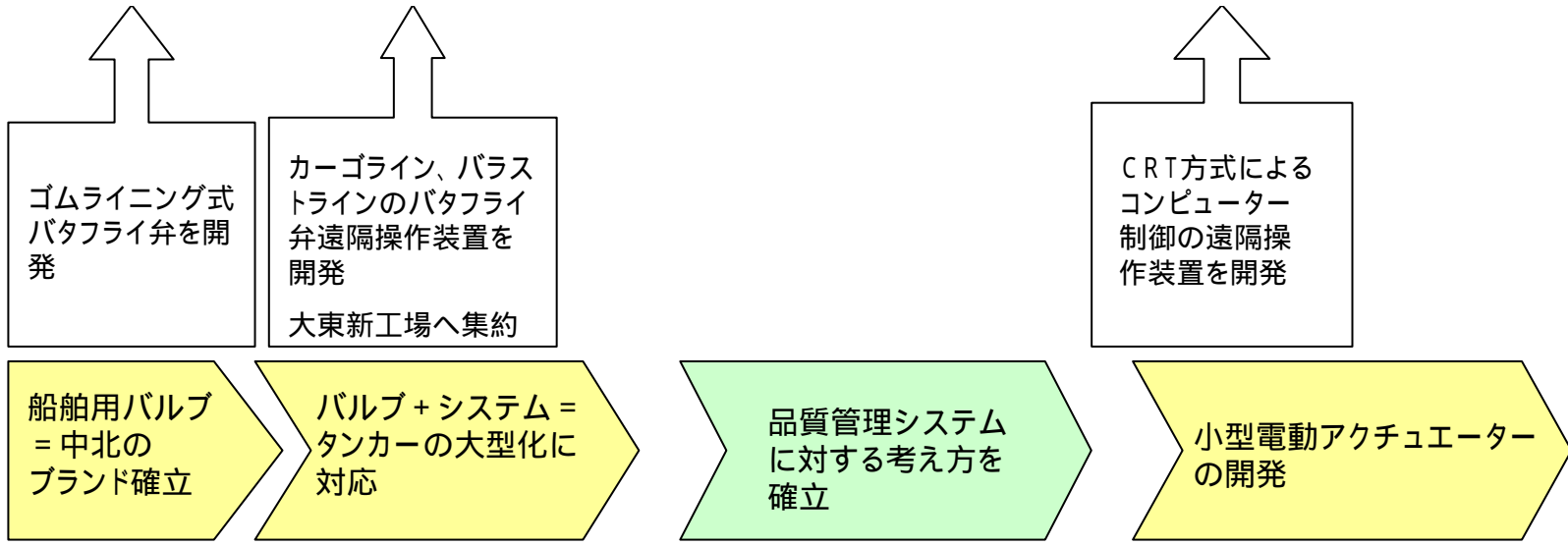
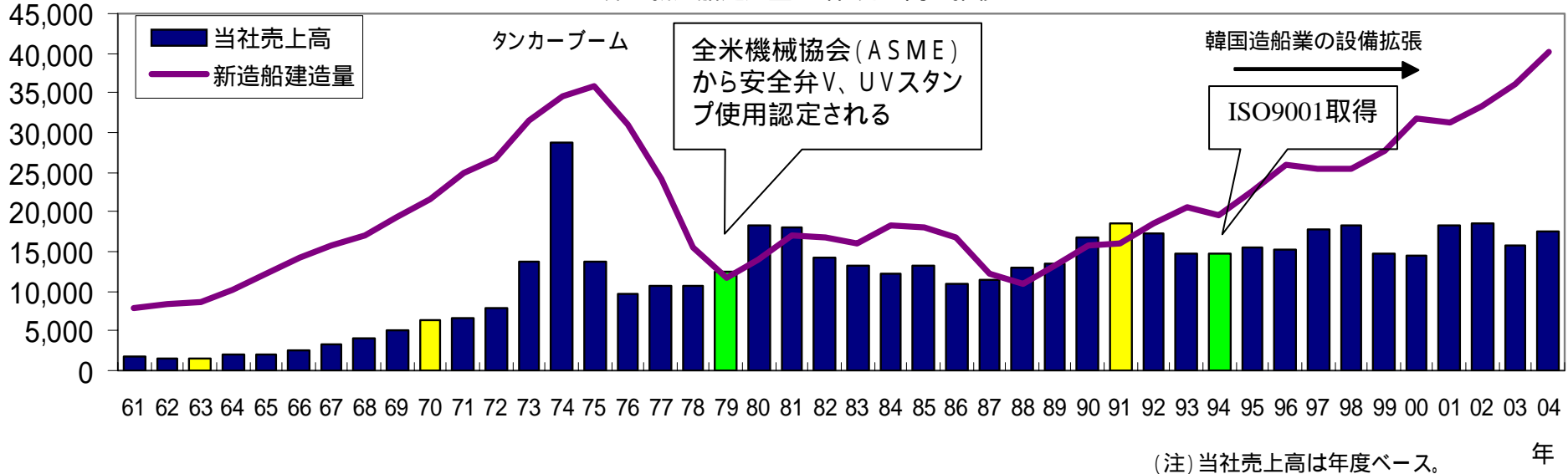
3. 沿革



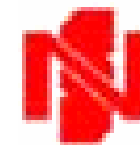
千総トン、百万円

世界の造船建造量と当社売上高の推移

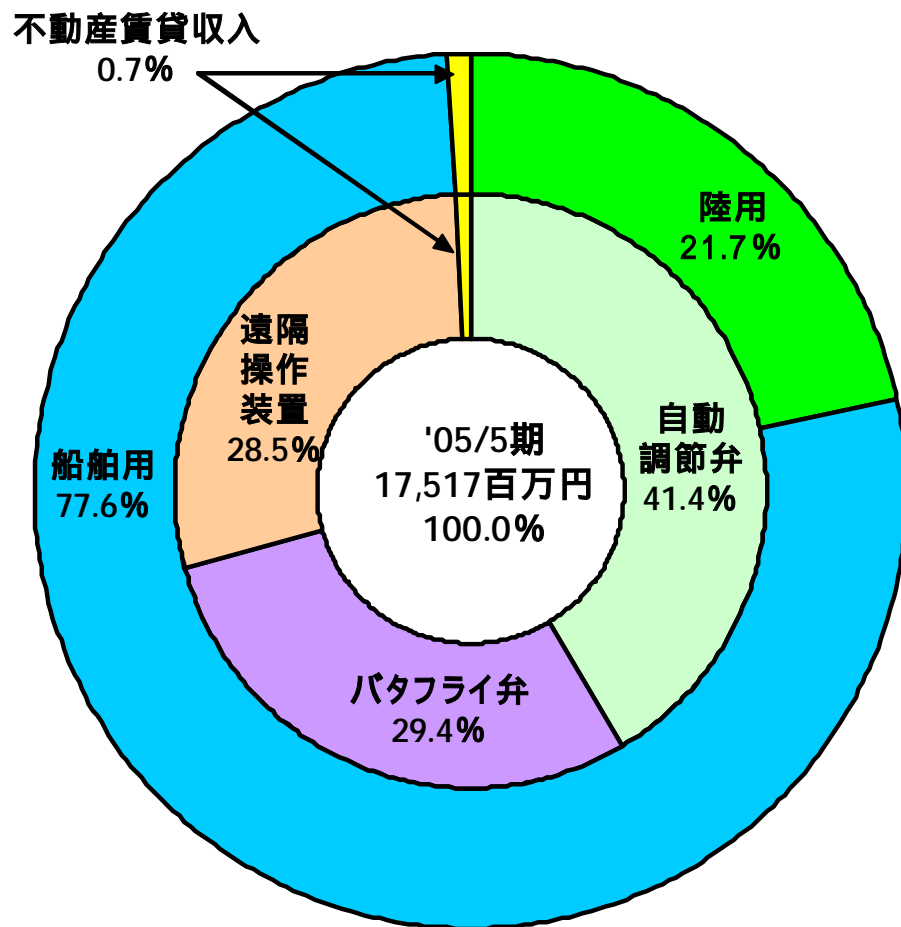
出所:ロイズ資料もとに中北製作所作成



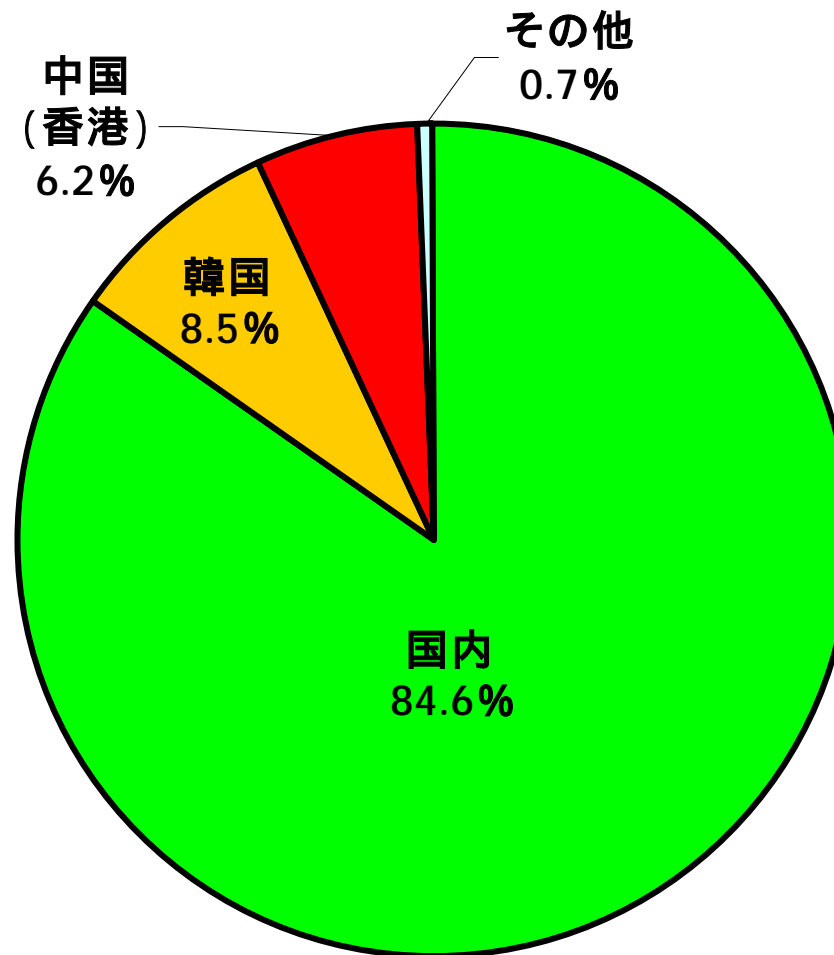
4.事業内容(05/5期)

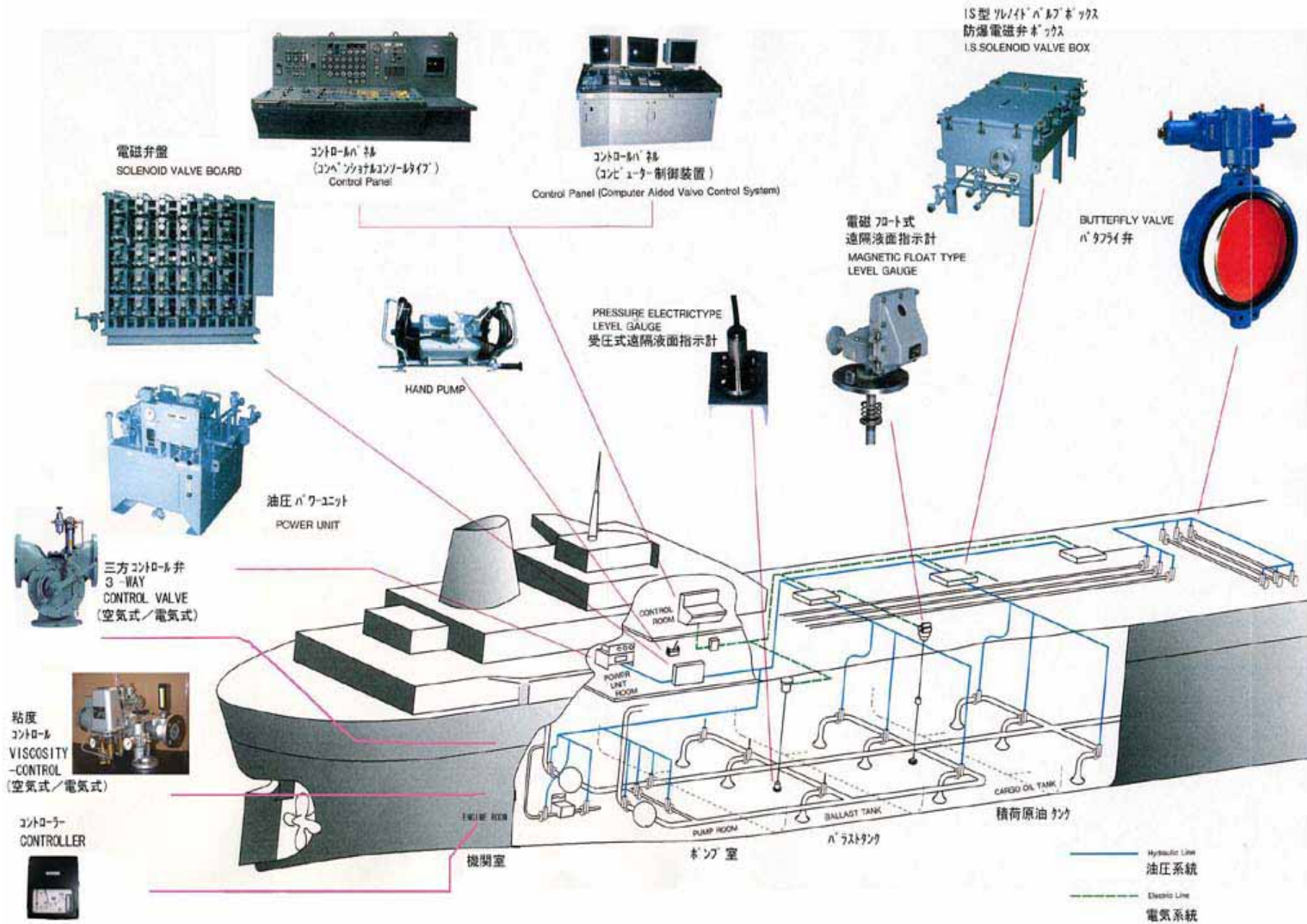


部門別売上高構成比



地域別売上高構成比







・ 05/5期実績及び今 06/5期見通し

1. 05/5期実績 (1)業績表



単位:百万円(百万円未満切捨)、%、円

	04/5	05/5	前年同期比		05/5下期初計画	05/5下期初計画比	
			増減	伸率		増減	伸率
売上高	15,837	17,517	1,680	10.6	17,000	517	3.0
営業利益	1,125	1,658	533	47.4			
経常利益	1,126	1,651	525	46.6	1,400	251	17.9
当期純利益	575	915	340	59.0	800	115	14.4
一株当り利益	28.6		47.6			44.1	
一株当り配当金	14.0		25.0			24.0	
総資産	19,210		20,101				
株主資本	12,416		13,042				

売上:自動調節弁がガスタービン向けを主体として大幅増加
 利益:原材料費の上昇を売上増と合理化等でカバー



(2) 受注・受注残の推移

受注高

単位: 百万円(百万円未満四捨五入)、%

	01/5	02/5	03/5	04/5	05/5	増減	伸率
自動調節弁	7,502	7,145	6,668	7,023	8,803	1,780	25.3
バタフライ弁	3,868	7,148	4,679	5,089	6,801	1,712	33.6
遠隔操作装置	5,067	5,172	4,241	5,903	6,054	151	2.6
受注高合計	16,437	19,465	15,587	18,015	21,658	3,643	20.2

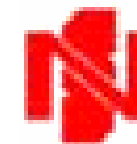
受注残

単位: 百万円(百万円未満四捨五入)、%

	01/5	02/5	03/5	04/5	05/5	増減	伸率
自動調節弁	3,229	2,618	2,549	3,388	4,937	1,549	45.7
バタフライ弁	2,854	4,304	2,649	2,903	4,555	1,652	56.9
遠隔操作装置	3,485	3,906	2,912	4,137	5,199	1,062	25.7
受注残合計	9,567	10,827	8,110	10,427	14,690	4,263	40.9

先期は値上がりを見越して客先からの早期発注が急増
06/5期後半と来期以降主体に受注残高が積み上がった

(3) 部門別売上高



単位：百万円(百万円未満四捨五入)、%

	04/5	05/5	増減	伸率	構成比
自動調節弁	6,185	7,253	1,068	17.3	41.4
バタフライ弁	4,835	5,149	314	6.5	29.4
遠隔操作装置	4,678	4,992	314	6.7	28.5
不動産賃貸収入	140	124	16	11.6	0.7
売上高	15,838	17,518	1,680	10.6	100.0

ガスタービン向け自動調節弁が大幅増加

(4) 地域別売上高



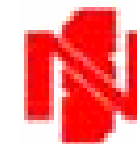
単位：百万円(百万円未満四捨五入)、%

	04/5	05/5	増減	伸率	構成比
国内	13,809	14,826	1,017	7.4	84.6
韓国	1,183	1,489	305	25.8	8.5
中国(香港)	617	1,089	472	76.6	6.2
その他	229	114	115	50.1	0.7
合計	15,838	17,518	1,680	10.6	100.0

韓国、中国が伸びた。

特に中国が造船業の成長に伴い伸び率が著しい。

(5) 損益計算書

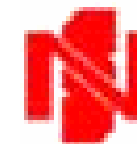


単位: 百万円(百万円未満四捨五入)、%

	04/5	構成比	05/5	増減	伸率	構成比
売上高	15,838	100.0	17,518	1,680	10.6	100.0
売上原価	13,295	83.9	14,358	1,063	8.0	82.0
売上総利益	2,543	16.1	3,160	617	24.3	18.0
販売費・一般管理費	1,417	8.9	1,502	85	6.0	8.6
営業利益	1,126	7.1	1,658	532	47.2	9.5
営業外損益	1	0.0	7	8	-	0.0
経常利益	1,127	7.1	1,651	524	46.5	9.4
特別損益	70	0.4	80	10	-	0.5
税引前当期純利益	1,057	6.7	1,572	515	48.7	9.0
法人税等	482	3.0	656	174	36.1	3.7
当期純利益	575	3.6	916	341	59.3	5.2

売上総利益増加 617 百万円の内訳: 売上増加 270 百万円
利益率向上 348 百万円

(6) 貸借対照表



単位: 百万円 (百万円未満四捨五入)

	04/5	05/5	増減	主要増減要因
流動資産合計	15,464	15,474	10	
現金・預金	6,182	4,277	1,905	売掛期間の長い案件が増加。 投資有価証券へ振替
売上債権	6,037	7,300	1,263	売掛期間の長い案件が増加。
棚卸資産	2,193	2,525	332	
固定資産合計	3,747	4,627	880	
投資・その他の資産合計	1,783	2,627	844	
投資有価証券	854	1,743	889	現金・預金から振替
資産合計	19,211	20,101	890	
流動負債合計	5,272	5,672	400	
支払手形・買掛金	2,829	3,092	263	
短期借入金	1,770	1,770	0	
固定負債合計	1,522	1,387	135	
負債合計	6,795	7,059	264	
資本合計	12,416	13,042	626	
負債・資産合計	19,211	20,101	890	



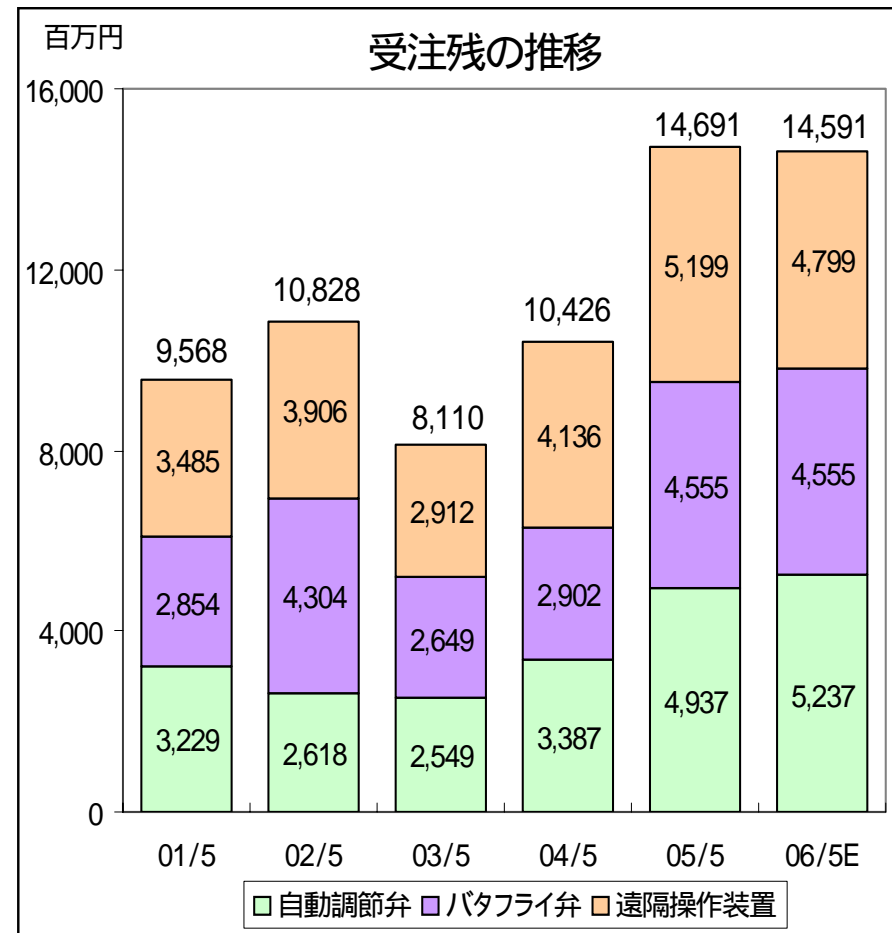
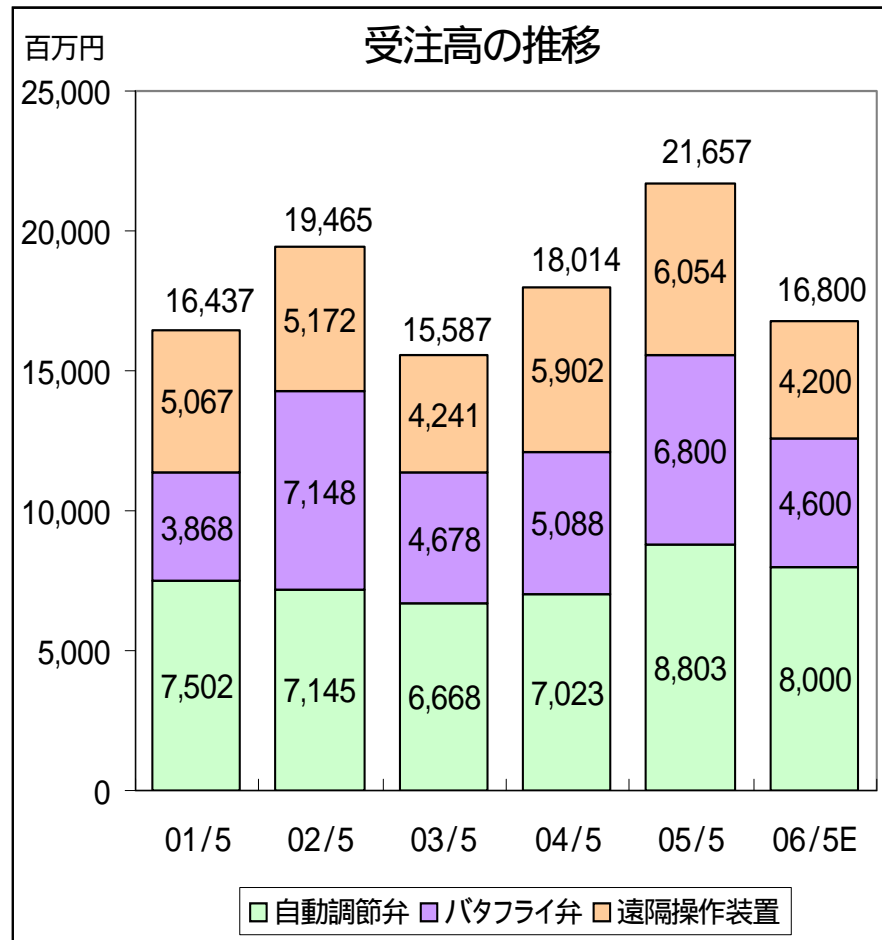
2.'06/5期見通し

(1)業績表

単位：百万円(百万円未満切捨)、%、円

	05/5		06/5E			
		構成比		増減	伸率	構成比
売上高	17,517	100.0	17,000	517	3.0	100.0
営業利益	1,658	9.5	1,500	158	9.5	8.8
経常利益	1,651	9.4	1,500	151	9.2	8.8
当期純利益	915	5.2	900	15	1.6	5.3
一株当り利益	47.6		46.8			
一株当り配当金	25.0		25.0			
設備投資	104		1,000			
減価償却費	75		136			
為替前提	108.0		105.0			

(2) 受注・受注残の見通し



既に受注が積み上がっており、足許の受注状況も落ち着いていることから今期受注は168億円を予想



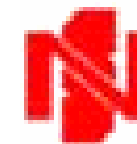
(3) 部門別売上高の見通し

単位: 百万円 (百万円未満四捨五入)

	05/5	06/5E	増減	伸率	構成比
自動調節弁	7,253	7,700	447	6.2	45.3
バタフライ弁	5,149	4,600	549	10.7	27.1
遠隔操作装置	4,992	4,600	392	7.9	27.1
不動産賃貸収入	124	100	24	19.4	0.6
売上高	17,518	17,000	518	3.0	100.0

韓国のタンカー建造が減少することを主因にバタフライ弁、遠隔操作装置が減少する見込み
中国向けガスタービン等自動調節弁の短納期受注に注力し、売上確保の方針

(4) 損益計算書



単位：百万円（百万円未満四捨五入）、円、%

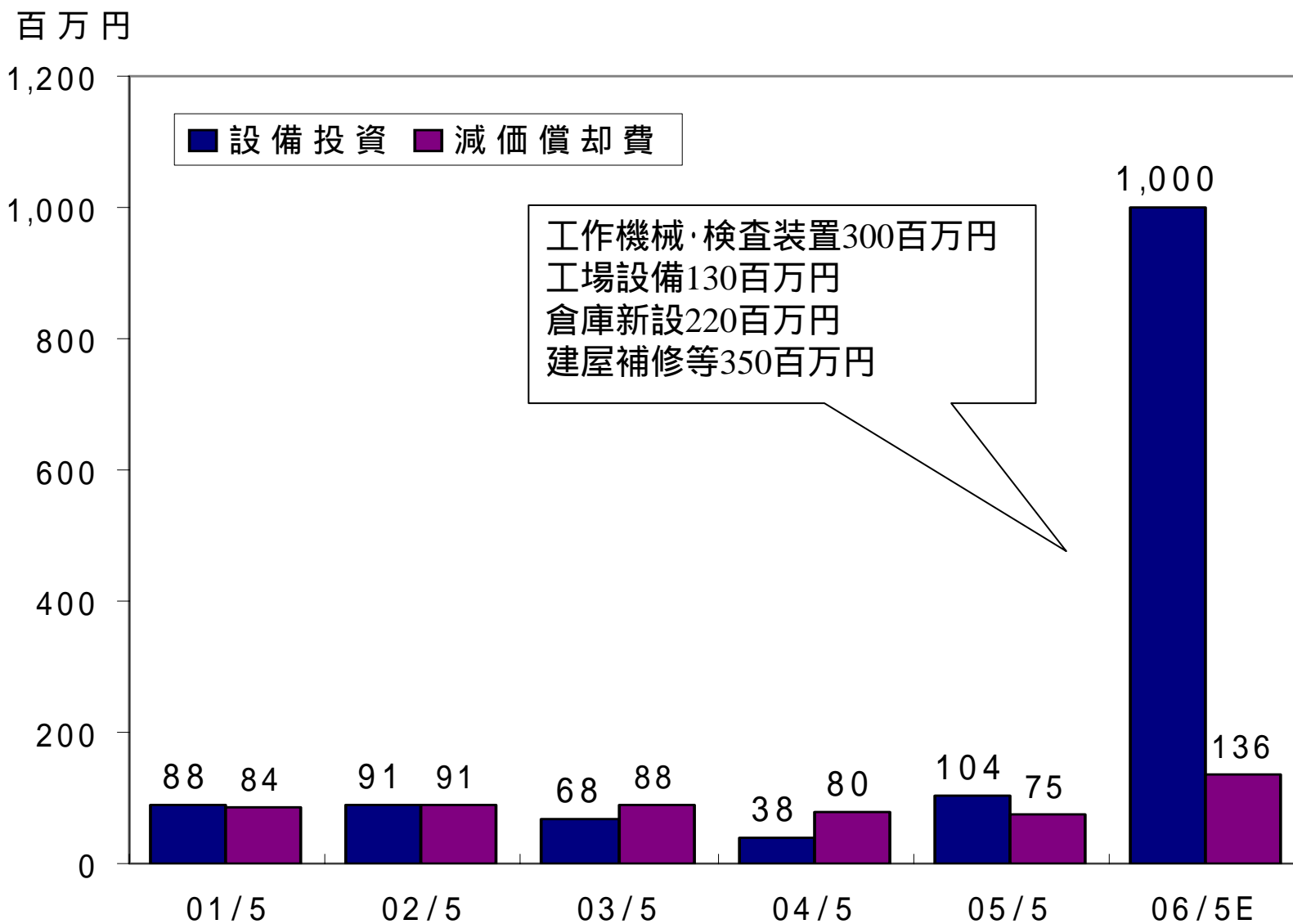
	05/5	構成比	06/5E	増減	伸率	構成比
売上高	17,518	100.0	17,000	518	3.0	100.0
売上原価	14,358	82.0	14,000	358	2.5	82.4
売上総利益	3,160	18.0	3,000	160	5.1	17.6
販売費・一般管理費	1,502	8.6	1,500	2	0.1	8.8
営業利益	1,658	9.5	1,500	158	9.5	8.8
営業外損益	7	0.0	0	7	-	0.0
経常利益	1,651	9.4	1,500	151	9.2	8.8
特別損益	80	0.5	0	-	-	-
税引前当期純利益	1,572	9.0	1,500	72	4.6	8.8
法人税等	656	3.7	600	56	8.5	3.5
当期純利益	916	5.2	900	16	1.7	5.3

タンカー建造の減少で売上は減少の見込み

材料費の値上がりと減価償却費の増加で原価率は上昇の見込み



(5) 設備投資と減価償却費





・今後の課題と中期戦略

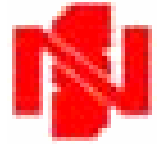
- 1 . 中北製作所の強み
- 2 . 当社製品の特徴
- 3 . 業界環境とポジショニング
- 4 . 今後の課題と戦略



総括

1. 05/5期実績について

2. 06/5期見通しについて



1. 中北製作所の強み

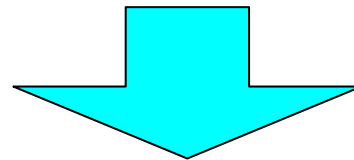
「進取発展」を社是とした先行開発力

船舶の自動化、電子化の流れに対応した開発を継続
環境重視の開発と営業に軸足を移動

バタフライ弁、遠隔操作装置、機関用調節弁を一括製造している唯一のメーカー

品質の信頼性ときめ細かなアフタサービス体制

質・量ともに客先の注文に応えうる生産体制
船主の細かい注文にも対応



永年の実績によるユーザーからの絶大な支持



2. 当社製品の特徴

(1) 自動調節弁

実績に裏付けされた品質に対する信頼性

(2) バタフライ弁

弁座取替えの簡便性

各種流体における高いシール性と耐久性

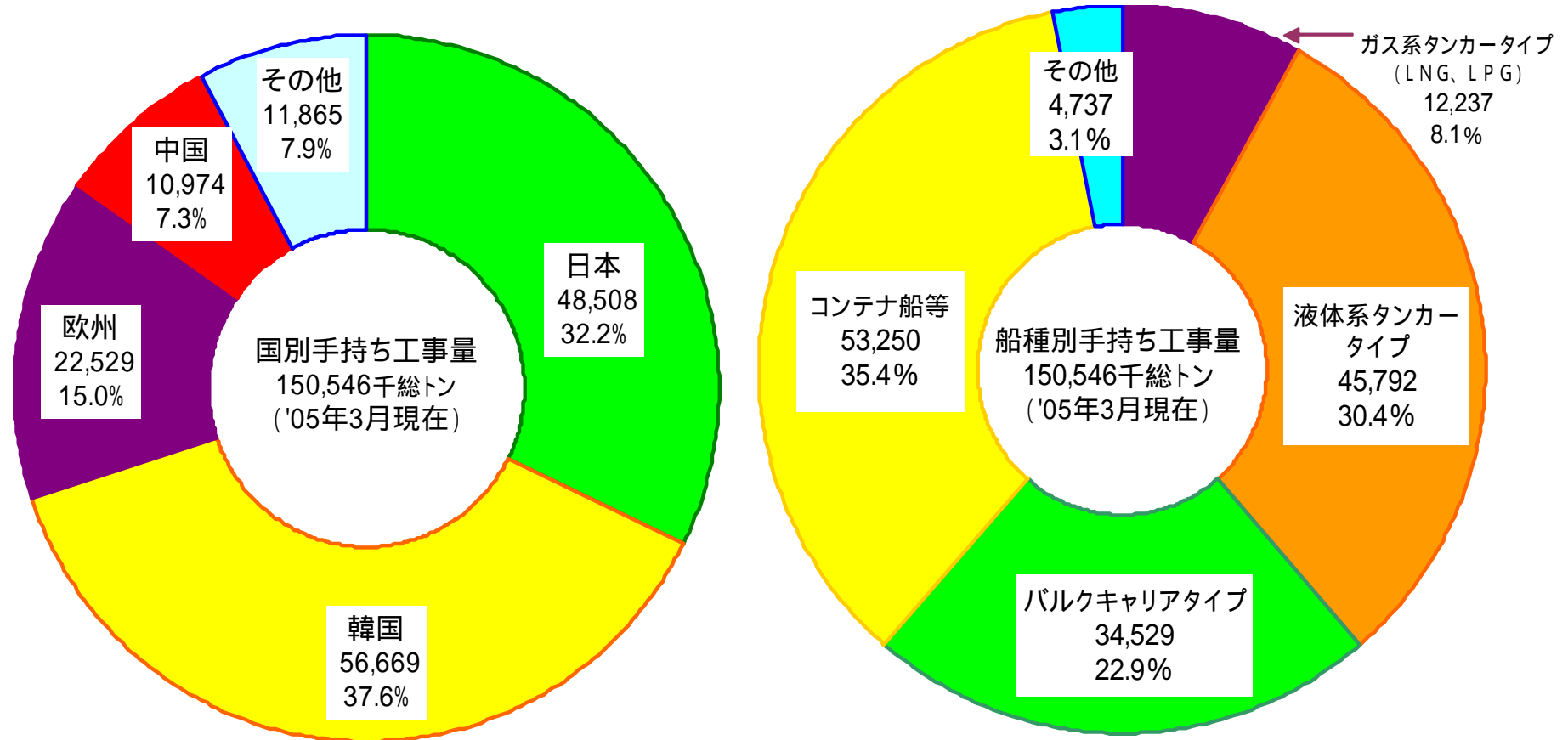
(3) 遠隔操作装置

バタフライ弁、液面計をセットしたシステム販売



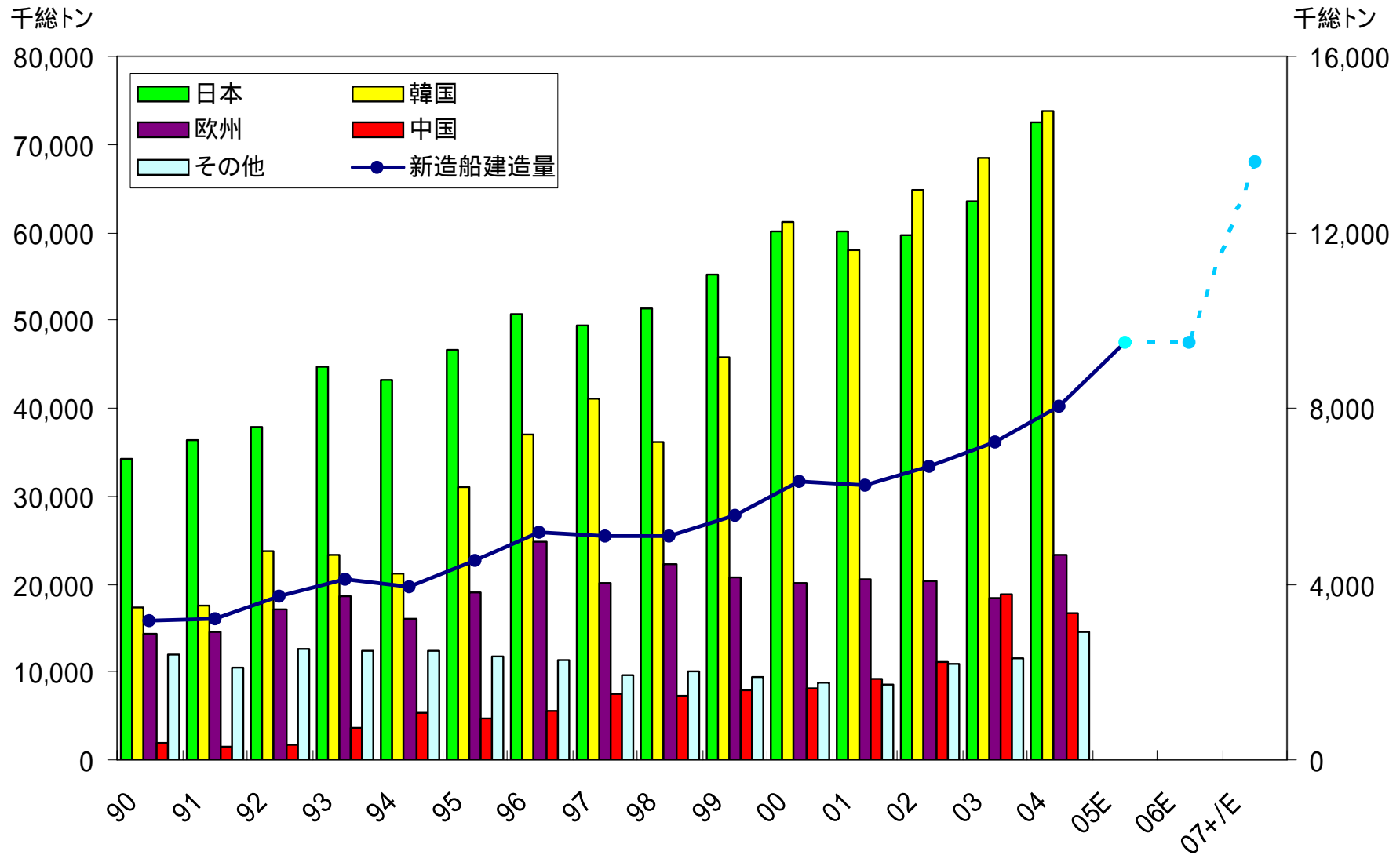
3. 業界環境とポジショニング

(1) 世界の新造船市場



出所: いずれもロイズ資料もとに中北製作所作成

(2) 世界の造船建造量の見通し



出所: ロイズ資料もとに中北製作所作成



(3) 世界的な競合と差別化策

	当社	アムリー	ダンフォス	キーストン	アモット
	日本	フランス	デンマーク/ 韓国	韓国	イギリス
遠隔操作装置					
バタフライ弁 (カーゴ/バラスト)					
自動調節弁					
LNGバタフライ弁 (参考)					

: 27ページをご参照下さい

中国・韓国市場での競争が激化

今後LNG船向け受注獲得の取り組みを強化



4. 今後の課題と戦略

(1) 事業領域の拡大

当社のコアである船舶や発電業界において
アライアンス(業務・技術提携)により取扱製品の裾野拡大をめざす

造船業界での圧倒的シェアを利用し、他社製品を当社で
システムパッケージ化しまとめて販売

技術提携により周辺製品を製造、販売
(株)ササクラとの技術提携により
LNG船用バタフライ弁を製造販売
売上寄与は2008年5月期から

○ガスタービン発電プラント関連で検討中



(2) 技術開発動向

自動調節弁関係

1. ガスタービン発電プラント用高温弁内部の耐摩耗性向上の研究
2. ガスタービン発電プラント用燃料制御弁高応答アクチュエーターの開発

遠隔操作装置関係

1. 貨物船/コンテナ船バラストライン用バタフライ弁の遠隔操作を環境に配慮した全電気式へ変換、これに対応したコントロールシステム、バタフライ弁の開発
2. バラスト用水処理装置の開発

(3) 経営課題と取り組み



1. 生産性向上 価格競争力をつける
設備能力及び作業環境向上投資
営業・設計・資材・工場に亘る情報の共有化
2. 人材育成
技能伝承(経験者の中途採用、新人採用)
幹部育成(若返りを推進)
3. 素材(鋳物)その他の安定調達
品質・納期



企業価値の向上に向けて